

Photo: Takahiro Tsushima

## 目【mé】(左から南川、荒神、増井)

2013年より活動開始。個々のクリエイティビティを特性化し、連携を重視するチーム型芸術活動。中心メンバーは、アーティストの荒神明香、ディレクターの南川憲二、制作統括の増井宏文の3名。果てしなく不確かな現実世界が実感に引き寄せられる体験を作品として展開。

Facebook: mouthplustwo



## 新潟・岩室温泉 ゆもとや

ゆもとやは、開湯300年の歴史を持つ新潟の奥座敷 岩室温泉にある旅館です。寛ぎの客室と効能豊かな岩室温泉の良泉を利用したお風呂に旬の食材をつかった会席料理、温もりとおもてなしの心でお迎えいたします。

住所:新潟県新潟市西蒲区岩室温泉91-1  
会期:2018年7月14日(土)~10月8日(月)

### 【宿泊鑑賞】

#### 貴賓室 初雁 [完全予約制]

基本プラン 1泊2食付き  
大人1名 18,500円(税別)~ ※2~13名まで宿泊可能  
15:00 チェックイン / 翌 10:00 チェックアウト  
※プランの詳細は「ゆもとや」のウェブサイトをご確認ください。  
「ゆもとや」ウェブサイト [www.yumotoya.co.jp](http://www.yumotoya.co.jp)

### 【一般鑑賞】

宿泊予約のない日の14:00~17:00に、無料で一般公開しております。(宿泊予約のある日はご覧いただけません)  
※事前にプロジェクト事務局「いわむろや」のウェブサイトで、一般公開の日程・宿泊予約状況をご確認のうえご来場ください。  
「いわむろや」ウェブサイト [www.iwamuroya.com](http://www.iwamuroya.com)  
※鑑賞のみの予約は受け付けておりません。  
※一般鑑賞者の方も日帰り温泉(11:30~15:00・不定休)をご利用いただけます。(このチラシ持参の方は、半額で入湯できます)

[宿泊予約] 新潟・岩室温泉 ゆもとや Tel: 0256-82-2015 [www.yumotoya.co.jp](http://www.yumotoya.co.jp)

一般公開日程、プロジェクト最新情報等のお問い合わせは、NPO法人「いわむろや」事務局まで。Tel: 0256-82-1066 E-mail: [mail@iwamuro.info](mailto:mail@iwamuro.info)  
主催:岩室温泉誘客推進プロジェクト ※会期中、関連ワークショップ、イベントを予定しています。詳細は「いわむろや」へお問い合わせください。



## 水と土の 芸術祭

Water and Land  
Niigata Art Festival 2018



# 水と土の芸術祭二〇一八市民プロジェクト 空壇プロジェクト in 岩室温泉 「三条仏壇×目【mé】」

KUDAN Project (Sanjo Butsudan x H[mé]) in Iwamuro Onsen  
Overnight stay in a guest room with KUDAN



【会期】二〇一八年七月十四日(土)~十月八日(月)

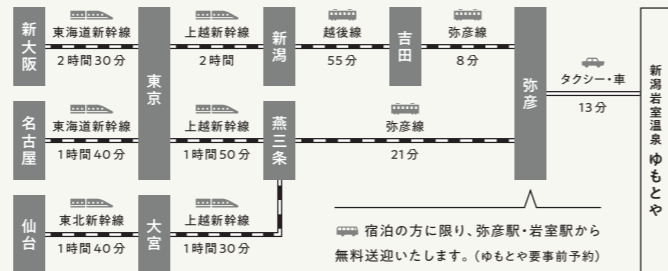
【会場】新潟・岩室温泉 ゆもとや

新潟県新潟市西蒲区岩室温泉九十一 [www.yumotoya.co.jp](http://www.yumotoya.co.jp)  
※宿泊予約のない日は一般鑑賞も可能です。宿泊予約・鑑賞方法は裏面をご覧ください。

### 【交通アクセス】

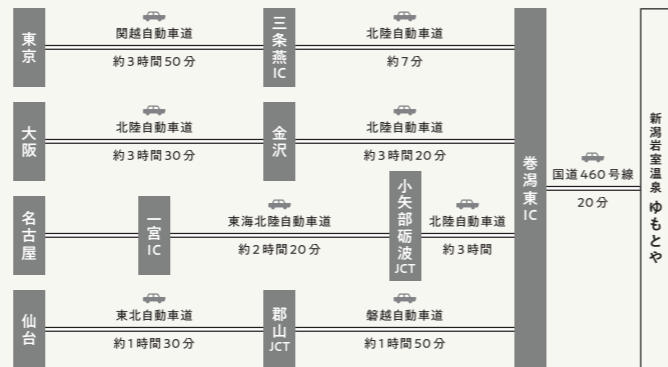
#### ●電車をご利用の方

上越新幹線「燕三条駅」乗り換え、弥彦線「弥彦駅」下車後、タクシーで約13分。  
※新潟方面からお越しの方は、越後線「吉田駅」で弥彦線へお乗り換えください。  
※越後線「岩室駅」も最寄駅ですが、無人駅のため「弥彦駅」のご利用をおすすめします。



#### ●お車をご利用の方

高速道路をご利用の場合、北陸自動車道「巻湯東I.C.」から約20分。  
県内一般道をご利用の場合、新潟市街から約50分・長岡市街から約60分。  
※新潟市岩室観光施設「いわむろや」の案内看板を目印にお越しください。



#### ●高速バスをご利用の方

「WILLER 高速バス」で東京から「ゆもとや」まで直通でお越しいただけます。  
バススタ新宿→ゆもとや / ゆもとや→東京駅(1日1便)

#### ●飛行機をご利用の方

新潟空港からもお越しいただけます。※詳細は「ゆもとや」のウェブサイトをご覧ください。

新潟「三条仏壇」伝統工芸士と国内外で活躍する現代アーティスト「目」による、新しい祈りの空間を創造するプロジェクト「空壇 KUDAN」。水と土の芸術祭会期中、新潟の奥座敷 岩室温泉旅館の一室に新しい祈りの空間が出現します。空間にゆったりと身を置き、「空」を想像しながら宿泊していただくことができます。

Photo: Tomoyuki Igarashi



# 三條 空壇



## 空壇は、新潟「三條仏壇」伝統工芸

士と現代アートチーム「目」による、新しい祈りの空間を創造するプロジェクトです。木地師、金具師、塗箔師、蒔絵師、彫師らの伝統技術が生む繊細で簡潔な造形美と、生活空間に新たな「空」を創出する「目」の着想。それらを繋ぎこみユニケーションを促すインストーラーやコーディネーターたちが集い、共感と葛藤を繰り返しながら新たなものづくりの可能性に挑戦しています。伝統と革新、工芸とアート、どちらかに片寄ることなく双方の魅力を引き出す、そんな新しい創造のあり方を実践してゆきます。

## 空壇プロジェクト

代表／山田仏壇店  
制作／三條仏壇 伝統工芸士  
アートディレクション／目【me】  
コーディネーション／クエルカ  
インストーラー／櫻井駿介  
グラフィックデザイン／森垣賢  
協力／五十嵐智行、酒井指物  
野本桐画製作所、ばんさい屋とぎ  
三條 燕・西蒲仏壇組合

E-mail: kudam\_sanjo@gmail.com  
Facebook: @KUDAN\_Sanjo

## 三條仏壇の起源と特徴

新潟県の燕三條地域は、和釘づくりが始まる金属加工を基幹産業とし、古くより職人たちの活気あふれる金物町として発展してきました。仏壇の製作が始まったのは江戸時代中頃、北陸随一の堂宇伽藍を持つ本願寺別院(東別院)の造営に端を発すると言われています。以降、先人から伝わる技術を大切に継承しながら、各時代の職人たちが切磋琢磨し、燕三條地域の仏壇製作技術を構築してゆきました。各宗派の寺院内陣を正統的に模した宮殿造りや、趣向の凝らされた手打ち金具、天然漆を用いた格調高い塗りに本金の優雅な時絵など、確かな伝統技術に裏打ちされた三條仏壇ならではのものづくりを行っています。

二〇一六年 新潟県三條市にてプロジェクト始動

二〇一七年 「空壇プロジェクト 第一弾 東京発表」 伝統工芸 青山スクエア(東京)

「空壇プロジェクト 第二弾 新潟発表」 北方文化博物館 常盤荘(新潟)

「ものづくり匠の技の祭典二〇一七」 東京国際フォーラム(東京)

二〇一八年 「3331 ART FAIR 2018」 アーツ千代田 3331 メインギャラリー(東京)

